

# 「つなぐれ！ケアラー支援の輪！」

## 【テーマを選定した理由（背景）】

全国的にもケアラー・ヤングケアラーが注目されている今、地域でのケアラー支援体制構築に向け、児童・障がい・高齢者の各分野が連携した取り組みであるため。

## 【現状・課題】

- ・包括センターとして利用者のための様々な支援を行っているが、利用者を支える家族や周囲への支援体制はできていない…
- ・「児童」「障がい」との横のつながりや連携体制が整っていない…

高齢者分野に限定せず、児童・障がい分野との連携を強化し、ケアラー支援体制を構築していくための仕組みづくりが必要！

### 【地域の事業所】

ケアラー支援は必要だけど、何ができるんだろう…？

### 【包括】

ケアラー支援に向けて、各分野の支援者とつながりたい！



## 【取組内容】

ケアラー支援に向けてできることを考えていこう！

### ①事務局メンバーの選出と定期的な会議

令和3年3月に第1回目の会議を開催。事務局メンバーには、ケアラー支援に賛同いただいた児童養護施設、生活介護事業所、ケアハウス、訪問看護ステーション、居宅介護事業所に打診。令和4年度は計6回の会議を開催し、定期的な情報交換や研修会の企画等を行った。

### ②定期的な研修会の開催

事務局メンバーで話し合った結果、令和4年度から①児童・障がい・高齢者の各分野の理解を深める、②具体的なケアラー支援について学ぶ、という2本柱の目的で交互に研修会を開催することとなった。令和4年度は計3回「ケアラーを支えるための勉強会」を開催。これまで北海道保健福祉部高齢者支援局高齢者保健福祉課地域支援係、えべつケアラズ、北海道ヤングケアラーサポートセンターの方を講師に招いた他、事務局メンバーが講師となって研修会を開催。医療機関や民生委員も参加する等、地域全体での機運が高まっている。

◆令和4年度は、支援者を対象に事業内容を企画！



◀研修会の様子。多職種連携のきっかけに☆

## 【評価（成果・課題）】

◆3回の研修会を実施し、延べ76名が参加！

- ・児童、障がい、高齢者という分野の垣根を越え、相互理解を深め、横のつながりをつくるきっかけづくりになった。
- ・ケアラー支援について具体的に学ぶことで、地域全体の機運が高まり、ケアラー支援の必要性について共通認識をもつことができた。
- ・今後も児童、障がい、医療、民生委員等、多職種に対して普及・啓発を行っていくことが必要。

## 【今後に向けて】

連携の継続を！

- ・今後も関係機関と連携を図り、地域でケアラー支援を継続して展開していく必要がある。
- ・今後はケアラー・ヤングケアラー当事者に対する事業内容を企画していくことを検討したい。
- ・将来的にケアラズカフェの開催等、引き続きケアラー支援に向けた取り組みを模索していく。